

■由木中学校区 A-1 【理想の暮らしとありたい姿】

第1回 八王子市のみんなの未来を考えるワークショップ

まちなみ 景観

- 電線の地中化
- 災害に強いまち
- スッキリした街なみ
- カラスではなくスズメが飛び交う街が良い
- 古い建物、大きな民家の保存 町並みの落ち着き
- 緑豊かさ

施設

- 大きな公園・運動
- 巡回図書館
- 集合住宅に複合施設
- 市民センターの利活用
- 市内、自治会内で生活の全てが完結する街づくり
- 八王子で完結(食・住・遊)
- 市民センターを上手に使う方法を発信してほしい

仕事

- 【大学生】安定したバイトがあると良い(高齢者と交流すれば手当を出すとか)
- 魅力のある企業誘致 八王子ならではの産業開発、地域に密着した市政(本当に必要なものに資源を使っているか?)
- ボランティアを有償化(使命感)
- 都会に若者がいない雇用・産業
- 生きがい
- 人材や資源を活用

交通

- 気軽に利用できる交通手段がある
- 交通の便スムーズ
- 【高齢者・障がい者】自動運転の車によって目的地まで行くことができる
- 自動運転

自然

- 「とかいなか」の生活ができる
- CO₂削減 今のまま緑守りたい
- 雑木林の保全管理
- 希少種を保護していくために外来の動物(アライグマ、ハクビシン)、植物の駆除
- 産地産直の継続、拡大
- 水源の保護
- みどりの聖地
- 丘陵のみどりの量が維持されている。CO₂削減のためにも景観のためにも
- 都立、市立保全緑地にも公園並みの予算をつけて保全を図らなくては維持できない
- 雑木林が手入れされずに拡大している、竹林から守られている
- 手入れされた雑木林、田んぼ、畑地が残っている
- 希少種の保護、自生地の保護 生物多様性 保全
- 特に由木地区にしか残っていないような希少(絶滅危惧種)がある
- 希少な生物 植物保護
- できる限り多くの家の屋根にソーラーシステムがあり、蓄電池で電気が溜められる仕組みを持っている
- どこでも緑

高齢・若ものいきいき

- ライフスタイルに応じて選択肢の多い生活ができる
- ↓自分の意思でどんな人でも
- どんな人も幸せに
- 自立とは選べること
- 自己選択
- 幼いころからライフスタイル選べる
- 子ども 個性
- 子どもも大人も障害を持つ子どもでもない子ども、それを個性と捉えて自分の意思でライフスタイルを選ぶことができる
- 【高齢者】体力づくりのリハビリ施設 カルチャー施設
- 【80代独居結婚歴なし】近隣やフォーマルなサポートを受けながら自立した生活を送る
- 【80代独居結婚歴なし】地域での生活が難しくなったら施設に入所して安心して生活できる
- 【一人暮らし高齢者】エンディングノートが普及し、希望者には公的機関に預かってもらえる(作成支援も)
- 介護や医療が必要に応じて手配される様々なマネージャーが充実した街
- 高齢者が人生最後の時期を安心して自分に誇りを持って生きられるしくみや施設がある街
- 【シニア世代】集合住宅近くにコンビニ・薬局散歩コースなどがある
- 介護
- 医療
- ワクチン
- 選び、選ばれるまち八王子
- 安心して最期を迎える
- 八王子の良き色々な選択が出来る場所
- その人らしく近隣住民と暮らせる

- 核家族が孤立しないように
- 「八王子ママデー」家事などの代行を

- 【子育てママ】家事や子育てからの開放デー制度創設(2日/月程度)

- 様々な場面で人々がボランティア活動をしている(有料でも)

- ボランティア活発に
- イベントの実施
- 由木地区運動会のような近隣地域が集まるイベントを月次で行いたい。
- 子どもから大人まで集まるイベント場所の提供

- 地域イベント目を向けて
- 地域のつながり 支え合いがある

- IT活用等 教え、学ぶ 相互関係

- 仲間づくり
- 若者を中心にして地域交流が活発になるような大学教育が工夫されていく街!

- ボランティア活発に
- イベントの実施
- 由木地区運動会のような近隣地域が集まるイベントを月次で行いたい。
- 子どもから大人まで集まるイベント場所の提供

- 地域イベント目を向けて
- 地域のつながり 支え合いがある

つながり・交流 支え合い・居場所

- オープンスペース
- 誰でも参加できる”場”
- 大きな子ども食堂
- 【働く子育てママ】学校の敷地を利用して子どもが安心して遊んだり勉強したりできる放課後が過ごせるようになっている
- 【子育て中のママ】子どもの遊ぶ施設が近くにいくつかある。屋内・外
- 言葉で気持ちや思いをしっかりと伝えることがあたり前な街
- 人の繋がり
- 子育て中の親や高齢者がふらっと立ち寄れる休憩所があちこちにある街
- あいさつが行き交う笑顔いっぱいの街
- 【シニア世代】生きがい創造(仕事)。地域での活躍できる組織(仲間)がある。ひとり暮らしの皆さんと一緒に過ごせる「シニア食堂」の創設(大きな子供)
- 【不登校の子ども】好きなことをして過ごせる居場所。好きなことを学べる場所

- 色々な人々(子ども、高齢、障がい…)が集まれる場所、交流

緑

緑+より取りみどり

教育

- 興味・好きを子どもが学ぶ
- 高齢者が先生になる
- 入学前から発達障がいなどがわかって個別のプログラムなどで就学に向けて力をつけてあげられる就学教育の充実
- 障がいがある子どもたちがその子に合った教育が幼いころから受けられ、納税者に育っていく豊かな街
- 【シニア世代】自分の得意なこと(仕事で得た知識や雑学)を子どもに伝えられる場所
- 【不登校の子ども】好きなことをして過ごせる居場所。好きなことを学べる場所
- 病院以外の
- 障がいのある子どもの教育施設
- 発達障がいの子・親への支援施設

キーワード

「個性でつながる・支え合うより取り”緑”のライフスタイル」

～ひとりひとりに確かな居場所～

- つながり・支え合える 子どもや大人、高齢者が教えたり、教わったり、気付いたり『支えあい(双方向のコミュニケーション)』が行われることが重要
- より取り緑 色々な選択肢が地域に存在していることを強調。緑は環境保全のメッセージを込めた。

どんな人でも、自分の居場所がある(核家族、若者、子育てママ、高齢者)